

令和6年2月28日
わかやま農業協同組合

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針

当組合では、食と農を通じて輝く未来を志向し、組合員・地域とともに歩むJAわかやまの理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、より組合員・利用者の皆さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

注) 共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（以下、JA共済連）が、共同で事業運営しております。JA共済連の「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針等」は、JA共済連のホームページをご参照ください。

1. 組合員・利用者の皆さまへの最適な商品提供

(1) 金融商品

組合員・利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、組合員・利用者の皆さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。選びやすさを重視したうえで、長期投資に適したラインアップ、運用実績が良好、良心的な手数料等の観点で選定しています。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

(2) 共済仕組み・サービス

組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう最良の共済仕組み・サービスを提供します。なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）は提供しておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

2. 組合員・利用者本位のご提案と情報提供

(1) 信用の事業活動

①組合員・利用者の皆さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、販売手数料等の多寡を重視することなく組合員・利用者の皆さまにふさわしい商品をご提案いたします。また、ご提案時は組合員・利用者の皆さまとの対話を重視し、対話の中で、つかう、ためる、ふやす等お金の色分けをしていただき、資産形成や老後の備えなどそれぞれのニーズに基づき、つみたてNISAやiDeCoを案内する等、運用目的に寄り添ったご提案をいたします。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

②JAとしてリスク許容度を確認し、リスク許容度に応じた商品をご提案することが、組合員・利用者の皆さまのニーズに合ったものであると考え、組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、継続投資に適した長期・分散・積立型投資の商品を中心にご提案し、必要な情報を十分にご提供します。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

③組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料について、組合員・利用者の皆さまの投資判断に資するよう、「JAバンクセレクトファンドマップ」等の資料をもとに丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

(2) 共済の事業活動

①組合員・利用者の皆さまのご意向を確認したうえで、公的保険制度やライフプランを踏まえた情報提供や保障提案を行うとともに、仕組みの特性や重要な事項について丁寧な説明に努めます。

特に、ご高齢の組合員・利用者の皆さまに対してはご理解いただけるようより丁寧に説明するとともに契約締結時にはご家族に同席いただくことを徹底するなど、きめ細やか対応を行います。

②保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はございません。

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

3. 利益相反の適切な管理

- (1) 組合員・利用者の皆さまへの商品選定や保障提案にかかる情報提供にあたり、金融商品の販売・推奨や共済仕組みの提案・契約等において、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。金融商品の販売・推奨等における利益相反が生じやすい場面において、重要情報シート等の活用により利益相反が生じる可能性等を具体的にご説明いたします。

【原則3本文および(注)】

4. 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し、誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成します。組合員・利用者の皆さまの多様な資産運用等のニーズに対し、組合員、利用者本位の業務運営を実現するため、eラーニング等の研修システムを活用するとともに、ロールプレイング等の実践的な研修を実施し、組合員・利用者本位の業務運営が実現できる態勢を構築いたします。

また、組合員・利用者の皆さまからいただいた声（お問合せ、ご相談、ご要望、苦情など）を誠実に受け止め、業務改善に努めます。

【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

(※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改訂）との対応を示しています。